

## 福島ジュニアチャレンジ受賞式

2月9日(日)福島市において「第1回ふくしまジュニアチャレンジ受賞式」が行われました。前回の学校だよりでお知らせしたとおり本校の6年生は「活動部門銅賞」に選ばれました。代表して佐藤昌哉君が受賞式に参加しました。多くの来賓の方や報道の方々に囲まれての受賞式で少し緊張したようですが、手作りの法被を身にまとい、しっかりとした態度で臨むことができました。

また、2月13日(木)には、佐藤昌哉君と後藤風寧さんが、喜多方市教育長様に受賞報告を行いました。教育長様からは、「第1回のコンクールでの受賞おめでとうございます。パフォーマンスもパンフレットも、とても良くできていたね。素晴らしいと感じました。これから先の人生で、大きな自信になるね。」とお褒めの言葉もいただきました。そして、「これからは高郷小学校の伝統として続けていってください。」と励ましの言葉もいただきました。

6年生が1年間取り組んできたことの良いまとめになったと思います。そして、6年生が今回の取り組みを今後の生活に生かしてくれることを期待したいと思います。



賞状を受け取る佐藤君



市教育長様と記念撮影

## 校歌楽譜額をいただきました

2月10日(月)本校の校歌を作曲された薄忠様より校歌の楽譜の書かれた額をいただきました。本校の校歌は平成19年当時高郷村にあった3つの小学校を統合する際に、新しい校歌を制定することになり、薄様に作曲を依頼して作られたものです。薄様は、高郷中学校の校歌も作曲しており、そして、「高郷音頭」も作曲されています。薄様は、校歌を作るに当たっては「簡単なメロディーで、心に残るものになるように心がけました。」とおっしゃっていました。その言葉どおり、本校の校歌は子ども達にとって歌いやすく、そして、心に響くとても良い校歌です。額は校長室に大切に飾らせていただきます。



額を寄贈くださいました薄様

## 「高郷フォーカス」に取り組んでいます

2月に入ってから新聞を活用した「高郷フォーカス」に取り組む学級が増えました。

「高郷フォーカス」とは、新聞から自分の気になる記事を選んで、その内容を簡単にまとめ(要旨づくり)そして、読んだ感想を書く活動です。

学力テストの結果から本校では「長文を読むこと」を苦手とする子ども達が多いことが分かりました。そこで、この取り組みを始めました。子ども達は、思った以上に新聞の内容を理解し自分の言葉でまとめ感想を書くことができます。この活動を繰り返していくことで、長文の問題を短時間で読んで考える力が高まります。ぜひ、家庭学習にも取り入れてみてください。



子ども達の手書きレポート

